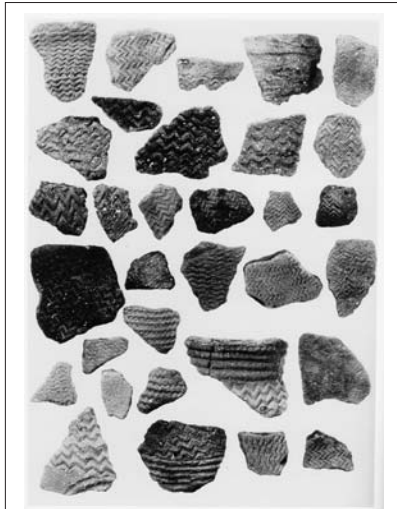


### 押型文土器の出現

縄文時代は、土器を使い始めた時（約1万2千年前）から弥生時代が成立する（約2千3百年前）までの期間をいいます。「縄文」とは表面に縄目の文様の土器をもつことからきており、この時代はその文様や形などから草創期、早期、前期、中期、後期、晩期の6つに区分されています。早期には土器が乾かないうちに表面に回転押捺して山形や楕円の文様をつけた押型文土器が流行します。

平成4年に実施した鷹島町床浪港の改修工事に伴う鷹島海底遺跡の緊急発掘調査では、水深約25メートルの地点から総数251点の縄文土器が出土し、そのうちの73点が早期の土器である押型文土器でした。これらの土器の特徴、同時に出土した貝類や動物遺存体の分析、花粉分析、植物珪酸体分析、いずれの分析の結果をみても、遺跡そのものが地滑り等の自然災害等の要因で海底に沈んだということではなく、遺跡が形成された約8千4百年前は水辺の近くに立地していた可能性はあっても、陸上に営まれていた遺跡であったことは確実のようです。

鷹島海底遺跡は元寇に関する遺跡であるばかりでなく、このような深さの場所まで遺跡の存在の可能性を指摘した重要な遺跡でもあります。



海底から出土した押型文土器  
「鷹島海底遺跡II」より



## コラム

バレリー先生  
(アメリカ出身)

### Peace 平和

私は日ごろから「平和」のことを大切に考えています。特に、核軍縮はとても大切です。

大学生の時、平和の原理に関する講義を選択していて、とても影響を受けました。その講義の内容と、そのころ起きた「アメリカ同時多発テロ事件」などの様々な出来事は、私の信念を大きく変えました。

私は、ガンジーなどの指導者の信念を研究し、問題を平和的に解決することはとても難しいが、平和的に解決した方が平和が長く保たれるということを学びました。世界中の多くの人が平和を強く求めれば、世界を変えることができると私は信じています。

世界の平和を願い、核軍縮に努めていることで有名な長崎県に配属されたことを、私は光栄に思っています。長崎の平和公園を訪れ、とても感銘を受けました。最近では、広島の子の像や原爆ドームを訪れました。これらの場所を訪れることは、とても悲しく、重々しい経験でしたが、また平和な未来に対する希望に満たされた経験でもありました。

